

ニューヨーク5時45分
夜明け前が一番寂しい

監督/脚本/製作/音楽: マイク・フィギス
製作総指揮: ロバート・エンゲルマン
製作: アニー・スチュアート
ベン・マイロン
撮影監督: テクラン・クイン
美術監督: ウォルデマー・カリノフスキー
衣装: ローラ・ゴールドスミス
イーニッド・ハリス
編集: ジョン・スミス

ONE NIGHT STAND

ワン

ナイト

スタンド



第54回ヴェネチア映画祭主演男優賞受賞

「リービング・ラスベガス」の
マイク・フィギス 監督作品

a bitter love story

ナスターシャ・キンスキー

ウェズリー・スナイプス

カイル・マクラクラン

ミンナ・ウェン

ロバート・ダウニーJr.

協賛: 萩島商事株式会社
Market Research by GAGA MONITORS 1000 <http://www.gaga.co.jp/> Comin_Soon_Web <http://cstv.co.jp>
アメリカ映画/ニュー・ライン・シネマ製作/配給: キヤガ・コミュニケーションズ NEW LINE CINEMA GAGA

「リービング・ラスベガス」のマイク・フィグス監督が贈る 大都会ニューヨークを舞台にしたビターテイストのラブストーリー



人間の心の奥底にある傷つきやすくデリケートなテーマを扱っている映画だ。人間がどうやって、それぞれの愛を選ぶのか、そしてその結果はどうなるのか、というマイク・フィグスの人生に対するビジョンが良く描かれている。

Newsday

マイク・フィグス監督が描いたこの映画は恋の連鎖反応をジャズ音楽のようにしっとり奏でている。

Rolling Stone

これはアートだ!

Time Magazine



「リービング・ラスベガス」よりもライトで活力のあるラブロマンス。

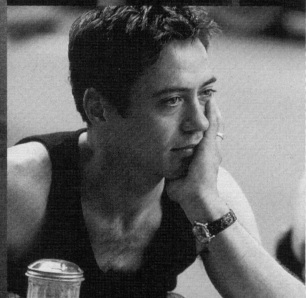
Orange Country Register

心 (Heart) と魂 (Soul) が描かれている作品だ。

New York Post

「リービング・ラスベガス」と同様、映画のリズムは健在だ。許されない恋愛が知的に濃厚に描かれている。

Daily Variety



ONE NIGHT STAND

ワン

ナイト

スタンド

「でも……もはや今の僕は、今までの僕ではない」 死んでゆく友…。その横で許されない恋におちる二人…。

ラスベガスを舞台に、孤独な男が天使のような娼婦に出会い、二度と見る事ができない夢のようなほかない恋におちていくラブストーリー「リービング・ラスベガス」において、世界中で高く評価され、アカデミー賞を始め、ヴェネチア映画祭、全米批評家協会賞、N.Y. 批評家協会賞、L.A. 批評家協会賞、ゴールデン・グローブ賞等、数々の賞を受賞した、マイク・フィグス監督の待望の最新作が本作「ワン・ナイト・スタンド」である。

幸せな結婚生活、すこやかな二人の子ども。L.A.でCMディレクターとして大成功を収めているマックス(ウェズリー・スナイプス)には一見何も不満が無いように見える。

しかしニューヨーク出張中に、HIVポジティブの親友チャーリー(ロバート・ダウニーJr.)との5年ぶりの再会、そして偶然出逢った人妻カレン(ナスターシャ・キンスキー)と運命に逆らえずにたった一夜だけの恋に落ちてしまったことから、自分の〈存在のあやふやさ〉と身近にある〈死〉を初めて感じてしまう。そのことは自分の生活に何ひとつ疑問を抱かずに暮らしていたマックスの未来を大きく変えていく。そしてマックス自身、心の中のはっきりしない葛藤に抵抗する事ができなくなっていく。家に帰った彼は親しかった友人と疎遠になり、家族の中での居場所も無くなっていく。

1年後、チャーリーは末期闘病生活に入る。

余命幾ばくも無い親友を見舞うため、妻ミミ(ミンナ・ウェン)を連れてニューヨークに戻ったマックスは、チャーリーの病室でカレンと再会する。彼女はチャーリーの保守的な兄バーノン(カイル・マクラクラン)の妻だったのだ。運命の導きにより再会してしまった二人は、惹かれ合う気持ちに抗おうとするが、死んでゆく友=義理の弟の前でありながらも、自分たちのお互いを求める気持ちを押しさえる事ができなくなる。

〈死〉のすぐ隣にある〈生の喜び〉という矛盾。そのことがより二人の求め合う気持ちを強いものにしていってしまう。

そして死と生のドラマの中で、それぞれが迎える結末とは……?

本作「ワン・ナイト・スタンド」は、大都会ニューヨークを舞台に、偶然の出逢いからふと今までの人生を立ち止まってしまう、これからの人生を見直していく、女と男の〈生〉と〈死〉、〈恋〉と〈運命〉を美しく、時に官能的に描いていく。

製作、撮影、美術等「リービング・ラスベガス」のスタッフが再結集して贈る、ピタナラブストーリーである。

第54回ヴェネチア映画祭が絶賛! 「リービング・ラスベガス」のスタッフが結集して贈る人生の詩。

ナスターシャ・キンスキー「パリ・テキサス」/ウェズリー・スナイプス「追跡者」/ロバート・ダウニーJr.「チャーリー」/カイル・マクラクラン「ツイン・ピークス」/ミンナ・ウェン「ムーラン」
監督・製作・脚本・音楽: マイク・フィグス

アメリカ映画/ニュー・ライン・シネマ製作/ビスタサイズ
ドルビーデジタル・ドルビーSR.SDDS/1時間43分/サウンドトラック: ボリドール
ギャガ・コミュニケーションズ配給



■カミングスーンTV
史上初の24時間映画情報専門チャンネル
ディレクTV、スカパーフェクTV!にて放送中!
お問い合わせ: カミングスーンTV
(03-3589-7676)

99年新春第2弾ロードショー

限定 ポストカードセット付特別鑑賞券発売中! ¥1,600(税込)

日比谷・東宝映画街

シャンテシネ

03
(3591)
1511